

科目名	キャリアデザイン	単位数	2単位
区分	選択(学校設定教科「職業」/学校設定科目)	配当年次	3または4年次

### 1 科目の目標

以下の要領で、「なりたい自分(自らの将来像)」に向けて自ら調べ、取り組もうとする姿勢を育みながら、計画を立て進める。

- ① 将来の職業生活を見据え、今後取得可能で希望する資格について幅広く調べる。
- ② 取得を希望する具体的な資格が見つかった場合は、必要な科目的要素や学力程度について更に詳しく調べる。
- ③ その過程で、基礎的な分野の復習が必要であるとの理解が得られたら、それらを含めて、自らの学習計画を立てる。
- ④ 必要な学力が複数の教科・科目に及ぶ場合、次年度の科目選択や卒業後の学習(進学先の選択)に活かす。

### 2 評価方法

	知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な専門用語の意味についての理解。</li> <li>・資格試験の内容や受験資格について調べる方途の獲得。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去問題等を調べ、現状での不足を自覚した上で、必要な対策を整理できる判断力。</li> <li>・目的実現に必要な学力を分析し、自己実現のために5年後・10年後までを見通せる思考力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料収集において、コンピュータ等を自らの工夫を交えて適切に利用しようとする意欲。</li> </ul>
評価基準	a:十分満足できる状況	a:十分満足できる状況	a:十分満足できる状況
	b:おおむね満足できる状況	b:おおむね満足できる状況	b:おおむね満足できる状況
	c:努力を要する状況	c:努力を要する状況	c:努力を要する状況

### 3 評価方法と評価の場面

知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目指す分野の様々な専門用語に対する理解度</li> <li>・検索方法や技術に関する理解度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で学習する教科との関連性の整理・分析度</li> <li>・教科横断的応用力の必要性の自覚</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場見学やオープンキャンパス等への積極的参加</li> <li>・出席状況</li> </ul>

### 4 年間指導計画

		学習の内容	考査	時数
前期	4月	資格とは何か、その必要性や学習法、取得の意味等について調べる。		16
	5月	過去の試験問題に取り組むなどして、実際の試験の様子を疑似体験する。		
	6月	主な資格について、その取得に必要な基礎学力の程度や合格難易度の観点から整理する。 自分が取得しようと思う資格を見つけ、進学の要否等、将来的な展望を掴む。		13
	7月	教科・科目の観点でどのような学力がどのレベルで必要となるか調べる。		16
	8月	夏休み等を使って、会社見学・オープンキャンパス・進学説明会等に積極的に参加する。		
	9月	資格取得に向けて、自分に不足している学力を具体的に把握する。	(③)	
後期	10月	必要な分野や学力を具体的に把握できたら、それに対する学習計画を立てて取り組む。		18
	11月			
	12月	自分に不足している分野について、基礎的な段階からの復習が必要であると自覚された場合は、その補充計画を立て、始業前や放課後の時間や年末年始休業中も有効に使う。		15
	1月			
	2月			
3月	まとめ (職業人としての人生設計、展望)	(⑤)		

### 5 備考

総合的な探究の時間等に計画される「就職や進路に関わる講座」には必ず出席すること。

## 令和7年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	就職チャート	単位数	2単位
区分	選択	配当年次	3または4年次

### 1 科目の目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会人として生きていくために必要な一般的知識や教養を身につける。</li> <li>・ 社会の一員としての素養を身に付けるとともに、その心構えを養う。</li> <li>・ 就職活動に必要な事柄を学び、就職活動に備える。</li> <li>・ 職業生活を踏まえた自分自身のライフプランを描く。</li> </ul>
--

### 2 科目の評価の観点と評価基準

	知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
評価の観点	①基本的な知識を獲得しようとしている。 ②就職に関する言葉を理解し、求人票の内容を理解できる。 ③就職活動の手順を理解している。	①就職活動に必要な事柄を理解し進めていくことができる。 ②問題点の把握ができ、どのように解決をすればよいか考え、判断することができる。 ③将来にわたる職業生活について自らの生き方を考えることができる。	①授業内容の説明を、逃がすことなく聞き取ろうとしている。 ②ノートやメモを取り、考察の参考にしようとしている。 ③自ら課題を設定し、解決しようとしている。 ④これからの人生に目を向け、前向きな思考を進めようとしている。
評価基準	a:十分満足できる状況	a:十分満足できる状況	a:十分満足できる状況
	b:おおむね満足できる状況	b:おおむね満足できる状況	b:おおむね満足できる状況
	c:努力を要する状況	c:努力を要する状況	c:努力を要する状況

### 3 評価方法と評価の場面

知識・技能(知)	思考・判断・表現(思)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査①～⑤の成績</li> <li>・ 授業中の演習問題の解答</li> <li>・ レポートや提出物の完成度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査①～⑤の評価該当箇所 の成績</li> <li>・ 授業中の演習問題の解答</li> <li>・ レポートや提出物の完成度</li> <li>・ 授業中の回答</li> <li>・ 話し合いの中での発言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業での説明を聞く態度</li> <li>・ ノートをしっかりとしているか</li> <li>・ 主体的取り組み</li> <li>・ 提出物やレポートの完成度</li> <li>・ 話し合いの中での発言</li> <li>・ 生徒の自己評価</li> </ul>

### 4 年間指導計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 (予 定)
前 期	4月	最近の就職状況、卒業生の進路の傾向を調べる	定期考査①	16
	5月	就職活動の手順の把握 就職するため必要事項のまとめ		
	6月	求人票の見方の理解	定期考査②	13
	7月	働き方の多様化と社会保障 実際の求人票から会社を知る		
	8月 9月	企業見学や就職試験出願に向けての取り組み 就職試験対策		
後 期	10月	就職試験対策	定期考査④	18
	11月	ビジネスマナー (挨拶・名刺交換・来客への対応)		
	12月	" (電話の対応)	定期考査⑤	15
	1月	労働を取り巻く問題や法規に関する学習		
2月 3月	将来における職業生活の展望			

### 5 学習にあたってのアドバイスや注意事項

自作プリントを教材としますが、授業テーマに関する映像の視聴や意見の表明・話し合い等を通して、職業や仕事について考えます。また、年間を通して基本的な教養や知識の獲得を目指します。
--

### 6 教科書・副教材

使用教材…自作プリント
-------------